

【地理探究】

～ClassPad.net の同時編集機能・リンクふせんを活用する～

観光産業におけるオーバーツーリズムへの理解とその解決策を探究する授業
代表的なオーバーツーリズムを取り上げ、映像からその課題を読み解き、解決策を模索する。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：観光産業の特徴について理解させ、現在起こっている問題への意識強化と、課題解決能力の育成を図る。

生徒向けの目標：地理的思考力を通じて、身近な課題に対する自身の考え方の精度を高める。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・**単元の理解促進**：映像に触れる機会を増やすことで、紙面に比べて想像しやすくなり、より具体的な意見を交わすことができる。
- ・**意見や考えを効率的に集約**：グループワークを通じて出た意見や考えを、画面上でより円滑により迅速にまとめることができる。
- ・**個別最適学習の促進**：紙面上よりも詳しい資料や映像で確認、考察できる機会が提供されることで、その後の興味・関心の喚起や個別学習への応用が期待される。

授業の流れ

ClassPad.net での操作

step1

【本日の授業の目標】

- ① オーバーツーリズムの概要を理解する
- ② オーバーツーリズムの実態について理解する
- ③ オーバーツーリズムの解決策について考える（グループワーク）

概要の説明

『オーバーツーリズムの実態とその解決策』という今回のテーマを、グループワークを通じて探究・発表することを伝達する。

step2

【重要語句の確認】

○**オーバーツーリズム**（観光公害）
特定の観光地における訪問客の著しい増加などが、地域住民の生活や訪問客の体験の質、自然環境、景観などに悪影響を与える状況のこと。

重要語句の確認

今回の学習で扱う重要語句について取り上げ、意味や内容を確認する。

テキストふせんと、必要に応じて EX-word ふせんなどを活用して項目を表示する。

※Ex-word 機能は有償になります。別途ご購入いただくことでこの機能はご利用いただけます。

step3

【実態】
オーバーツーリズムが問題視されている「ヴェネツィア」の資料映像を確認します。

(着眼点)
具体的にどのようなことが問題なのかを、資料映像を通じて読み取る

資料映像の確認

オーバーツーリズムが問題となっている「ヴェネツィア」の資料映像を確認し、具体的にどのようなことが問題として挙げられているかを、確認した映像から考察する。

リンクふせんを利用して動画を視聴する。

〈YouTube 動画〉

■ 「【4K】イタリアの絶景！運河の迷宮ヴェネツィア！Venice, Italy」
(<https://www.youtube.com/watch?v=kRIs9p8BYoI>)

■ 「ベネチア旅行ガイド | エクスペディア」
(<https://www.youtube.com/watch?v=XK88t7t4gX8>)
→ 04:52~06:11 部分を視聴

step4

【問題】
Q. ヴェネツィアが抱えているオーバーツーリズムの具体的な内容は何か。

(注意点)
○ 具体的なオーバーツーリズムの内容について考える。
○ その原因と解決策についても考える。

【対策の例】

- 観光客の行動規制
路上や橋に散ったの飲食、ごみの不法投棄、運河での水泳、ハトへの餌やりなどを罰金付きで規制
- グリニッジ・タワー・カードの導入
公共交通機関の運賃や美術館、博物館の入場料などが一休と变成了オール・イン・パス
- 入島券の導入
→ 本島および島嶼部に入島する観光客に対して課税
- ヴェネツィア空港を拡張し、空港利用客を各方面に分散
→ 地域活性化

問題提起・対策例の提示

視聴した動画の内容を踏まえ、「ヴェネツィアが抱えているオーバーツーリズムの具体的な内容は何か」という問題と、その原因や解決策は何かについて少し考えさせ、数人に答えてもらう。

その後、実際にヴェネツィアで起こっている問題と、その対策例を提示する。

※次の step に時間をかけたいため、ここまで流れは簡潔に手際よく進める。

ヴェネツィアで起こっている問題については、YouTube 動画や各種資料をリンクふせんを中心に提示し、具体的なイメージが湧きやすいようにする。

〈共有資料の例〉

■YouTube 動画「「観光客は歓迎するが、住めない場所に」…」
(https://www.youtube.com/watch?v=_DODKit95_0&t=56s)

step5

【グループワーク】
① ヴェネツィアで、オーバーツーリズムが問題視されている地域を 1 か所探す
② その地域におけるオーバーツーリズムの具体的な内容やその原因、とられている対策などについて調べる
③ その地域に修学旅行で訪れることになった場合、オーバーツーリズムによる被害があることを前提に、どのような旅行プランが望ましいかを考える

(注意点)
○ 今回各グループで考案した旅行プランは、次回の授業時にプレゼンテーションしてもらう予定

【グループワークのやり方】

- ① グループで 1 つ、新規のデジタルノートを作成する
- ② 同時編集機能を用いて作成を進める
- ③ 見つけた資料や Web サイトの URL、Ex-word 機能を利用して調べた言葉などは、ふせんにして残しておく
- ④ 作成したふせんを整理して配置し、根拠から提案までが論理的になるよう、スライドショー機能でつなぐ

グループワーク

step 4 で提示した問題とその対策例をふまえて、以下のことについてグループごとに考え、デジタルノートにまとめてもらう。

- ・オーバーツーリズムによる問題が発生している地域を 1 か所選択する。
- ・その地域について、オーバーツーリズムにまつわる問題やその原因、とられている対策などについて調べる。
- ・その地域に学年全体で修学旅行に行くとした場合、オーバーツーリズムによる被害があることを前提に、どのような旅行プランが望ましいかを考える。

考案した旅行プランは、次回授業時に教員に対してプレゼンテーションさせる。

グループごとに新規のデジタルノートを作成させ、同時編集機能を用いて取り組ませる。また、各グループが見つけた Web サイトの URL を貼り付けたリンクふせんや Ex-word ふせんなどを、デジタルノート上に整理して配置させる。

その際、根拠から提案までが論理的になるよう、スライドショー機能で繋ぐ順番に留意させる。

※Ex-word 機能は有償になります。別途ご購入いただくことでこの機能はご利用いただけます。

step6

【中間発表】
グループごとに、プラン作成の現状について発表しよう！

(注意)
○ 本日はあくまでも中間発表なので、具体的な旅行プランについての発表はしないこと。
○ 次の各項目を参考すること。
① グループ内における現在の課題
② 各グループがそれぞれ差ししようとしている要素や項目
→ アドバイスなどを加えるので、次回の発表に向けて準備に役立ててください。

中間発表

step 5 の活動について、各グループからごく簡単な中間発表をしてもらう。

ただし、頭を使う探究活動であることを考慮し、この段階では旅行プランそのものの発表とはせず、活動の中で困っていることやうまくできたことなどを中心に語らせる。教員は適宜フィードバックやアドバイスを加え、全グループの活動がスムーズになるよう図る。

中間発表には、必要に応じてデジタルノートの一部を電子黒板やプロジェクターで投影してもらう。

その際、発表内容の核心に迫るふせん類を映さないよう注意してもらう。

step7

【宿題】
○ デジタルノートを完成させ、次回のプレゼンテーション向けの準備をしておくこと。

宿題

発表用のデジタルノートを完成させ、プレゼンテーションができる状態にしておくことを宿題として課す。

次回の発表の際、スムーズな進行をしたい場合には、事前にデジタルノートの URL を各グループから回収し、発表に備えた準備をしておく。あえてそういう準備をせず、新鮮な驚き等を大切にするのもよい。

step8

類型
温泉保養地型
海浜保養地型
山岳高原保養地型
自然環境保全型
歴史文化遺産型
都市文化型
地場産業型
メディア誘導型

参考・補足①

「観光地の類型」を提示した上で、ヴェネツィアはどの類型に該当するかを考えさせる。また、同じような類型に分類される国や地域にはどのような場所があるかを挙げてもらう。

生徒から挙がった国や地域について、そのように言える根拠などを積極的に発言するよう促し、教員がその場でテキストふせんを作ってプロジェクター等で提示しながらまとめていくとよい。

step9

【補足事項②】

京都市が抱える問題として、以下のことを考えてみよう。

① オーバーツーリズムとして、具体的にどんな問題を抱えているか？

② オーバーツーリズムによって発生した問題が、その他にどんな問題に発生したか？

(例) 観光客の急増による宿泊地の不足

→ 宿泊料金の高騰

参考・補足②

京都市が抱える、オーバーツーリズムの具体的な内容や、それによって起こったさらなる問題について考察する新たな学習課題を提示する。

取り組ませる場合は、step5と同様にデジタルノートにまとめさせてURLを回収し、フィードバックするとよい。